

フレームワークや優良レポートのベンチマーキングを通して考える

『統合報告書』とSDGs・ESGコミュニケーション

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 1月17日(木) 13:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《ご参加頂きたい方》

『統合報告書』の作成を新たに検討、またはSDGs及びESG関連情報等の取り扱いを含めて継続的な改良を検討している企業のIR部門、CSR部門、環境部門など関連部門のご担当者

講師 キュー・エム・コンサルティング 取締役社長 公認会計士 松原恭司郎 氏

国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル関連のコンサルティング業務に従事。SBI大学院大学客員教授、東北福祉大学兼任講師。元 中央大学大学院特任教授。主な著書に『図解「統合報告」の読み方・作り方』(2014)中央経済社、『松原流:戦略マップ/BSC実践教本』(2010)、『ビジネスモデル・マッピング教本』(2013)、『ROE重視のKPIマネジメント教本』(2016)日刊工業新聞社などがある。



《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

181283-0101 『統合報告書』とSDGs・ESGコミュニケーション			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

■開催にあたって■

国際統合報告評議会(IIRC)による「国際統合報告フレームワーク」の公表(2013年12月)から5年目となり、多くの日本企業が統合報告書を発行しています。国連の「SDGs(持続可能な開発目標)」(2015年9月)への配慮やESG投資の広がりなどを受けて、ステークホルダーとのコミュニケーション・ツールとしての統合報告書の重要性が高まっています。そこで統合報告に関する体系的で実践的な入門セミナーを開催致します。

■プログラム■

1. 統合報告書の基礎

- 国際統合報告評議会(IIRC)のフレームワークのおさらい
 - フレームワーク(2013年12月公表)の体系
 - フレームワークの重要ポイント(ビジネスモデル、非財務KPI、コネクティビティ他)
- 統合報告の動向
 - 日本企業による対応状況
 - IIRCのSDGsと統合報告書に関するレポート(2017年)他

2. 統合報告書の事例のベンチマーキング

- 統合報告書の事例のレビュー
 - 各ポイント(ビジネスモデル、非財務KPI、コネクティビティ他)について、IIRCのフレームワークの関連箇所を確認し、事例をレビューする。
- 統合報告書のベストプラクティス企業一社を取り上げ、その継続的改善の足跡から、統合思考・統合マネジメントと統合報告の好循環のポイントを学ぶ

3. SDGs・ESG要素と統合報告書

- SDGs・ESGに係る新たな動きを理解する
 - 関連するキーコンセプト(CSR、CSV、TBL他)の概要
 - 国連の「SDGs(持続可能な開発目標)」の概要と、ESG投資や企業戦略との関係
- 統合報告によるSDGs・ESGコミュニケーション
 - SDGs・ESGに関連するコンセプトやフレームワーク等を踏まえて、統合報告書におけるSDGs・ESGコミュニケーションの方向性について考える
 - SDGs・ESGへの対応企業の統合報告書を事例レビューする

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。